

借入金の状況

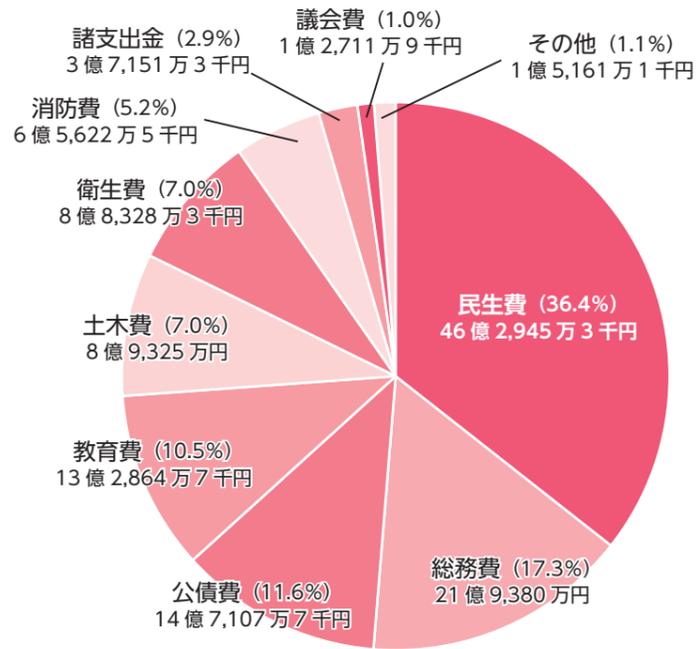
▶ 年度末借入金（地方債）残高 一般会計の残高

令和2年度決算額	約127億円
令和3年度見込額	約120億円
令和4年度見込額	約109億円

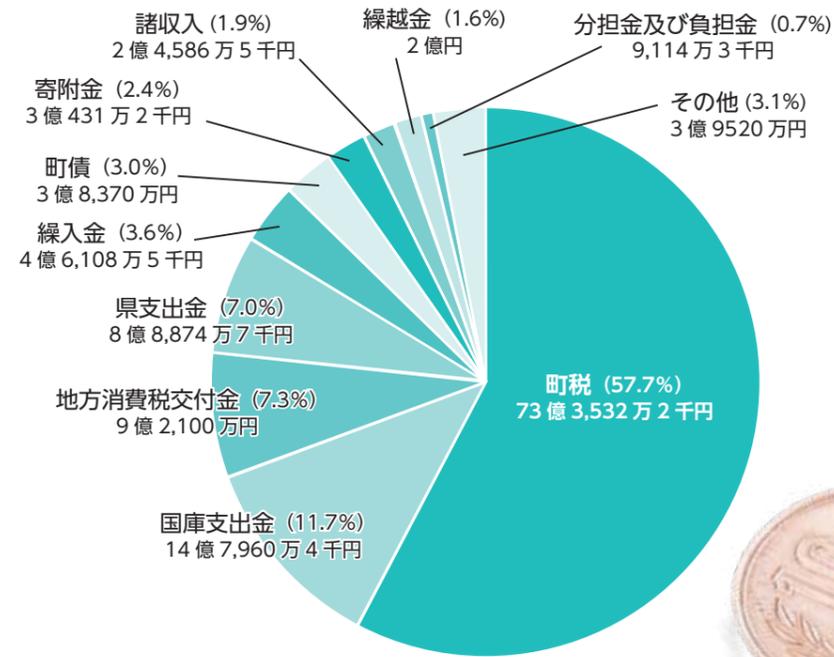
令和4年度は地方道路等整備事業、文化施設整備等事業、庁舎等整備事業等における事業費の財源を確保するため、借入れを予定していますが、年度末借入金残高については、令和3年度見込額と比較し減少しています。



一般会計の歳出



一般会計の歳入



令和3年度 一般会計予算額

124億1,830万6千円

令和4年度 一般会計予算額

127億597万8千円

令和3年度から
2億8,767万2千円の増額（一般会計）

令和4年度 三芳町の

予算

町では、厳しい財政状況の中、限られた財源を活かしサービスを行っています。税金がどのように活かされているのか。令和4年度予算案の概要をご報告します。
 財政デジタル推進課 415

持続可能な財政運営

町の財政状況は、令和3年度当初予算比では大きく改善したものの、将来負担への備えなど引続き持続可能な財政運営に取り組む必要があります。こうしたなか、令和4年度三芳町一般会計予算案を作成し議会に上程しました。予算が決定することは、町が行っていく事業を決定したことになります。今年度の予算案を公開します。

一般会計の概要

町の自主財源である町税は、令和3年度当初予算比で増収が見込まれる一方、「福祉・医療・介護」などの社会保障経費や公共施設の老朽化対策等の将来負担増が見込まれます。これらの将来負担を見据え、限られた財源の中であっても行政サービスを確保できるように、既存事業や新規事業等を十分に精査し予算を編成しました。予算総額は127億597万8千円、前年度と比較して2.3%の増額となっています。歳入の主なものとしては、町税

が全体の57.7%を占め、国庫支出金11.7%、地方消費税交付金7.3%、県支出金7.0%、繰入金3.6%、町債3.0%などです。歳入の主なものとしては、民生費が全体の36.4%を占め、つづいて総務費17.3%、公債費11.6%、教育費10.5%、土木費7.0%、衛生費7.0%となっています。また主な事業としては、藤久保地域拠点整備事業、スマートIC利便性向上促進事業、総合計画策定業務、地域交通改善対策事業、農業支援事業、ふるさと納税推進事業、感染拡大防止・医療提供体制等整備事業などを予定しています。

特別会計の概要

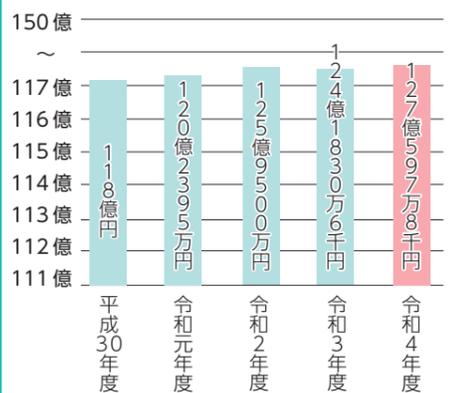
特別会計は、予算を使用する用途が限定されています。一般の歳入歳出予算と区別して行われている会計です。町には国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険・地方公営企業法が適用される水道事業、下水道事業の5つの特別会計があります。特別会計の中でも国民健康保険は、被保険者数が減少してい

特別会計予算

特別会計項目	当初予算等金額	前年比	問い合わせ	
国民健康保険特別会計	3,612,570千円	0.63%	住民課保険年金 154	
後期高齢者医療特別会計	1,075,446千円	12.43%		
介護保険特別会計	2,858,127千円	5.14%	健康増進課介護保険 184	
水道事業会計	収益的収入	854,427千円	△0.07%	上下水道課水道業務 上下水道課下水道業務 ☎049-274-1014
	収益的支出	828,434千円	△1.39%	
	資本的収入	178,952千円	31.58%	
下水道事業会計	資本的支出	507,266千円	24.82%	
	収益的収入	856,171千円	△0.28%	
	収益的支出	744,910千円	△1.36%	
下水道事業会計	資本的収入	72,738千円	△5.30%	
	資本的支出	240,213千円	△9.80%	

るものの、1人当たりの医療費は増加傾向にあることから前年度に比べ、若干の増加となりました。また、後期高齢者医療についても年々被保険者数が増加し、医療費も増加傾向にあります。各保険とも、保健事業や医療費適正化事業に力を入れ、財政運営の健全化につなげていきます。介護保険は、高齢者の増加や介護サービスの利用増が見込まれ、前年度より増加となりました。水道事業では、継続的な安定給水のため、本年度は配水管の耐震化と浄水場整備工事を行います。下水道事業の主な事業は、中継ポンプ場の汚水ポンプ逆止弁更新を行います。

一般会計 当初予算の推移



過去5年間の推移